



Report 3

総領地域の親睦深まる 第1回スポーツフェスティバル

「第1回スポーツフェスティバル」が10月26日、



▲縄ない競争

総領小学校グラウンドで行われ、区民約300人が参加しました。

この催しは12年振りの町民運動会として総領自治振興区が企画・主催したもので、参加者は4チームに分かれ、綱引きや玉入れ、大玉ころがしなど16種目の競技で勝敗を競いました。

中には、消防団員が消防服を担架代わりにして要救助者役の小学生を救出する「お助け隊出動」などユニークな競技も行われ、会場に詰め掛けた多くの町民が、選手に温かい拍手と声援を送り、会場は一体となって盛り上がりました。

「大勢が集まると楽しいし、久しぶりに体を動かせて良かった」などの声が聞かれ、地域住民同士の親睦が深まり、笑顔があふれていました。

Report 4

丹精込めた作品にうなる 庄原市美術展覧会・しょうばら菊花展

市民の芸術作品が集う、第10回庄原市美術展覧会が11月3日～8日(前期展)、13日～18日(後期展)の期間、田園文化センターで開催され、出品された工芸、書、洋画、写真など134作品が展示されました。

観賞に訪れた人は「どの作品もレベルが高く、見とれてしまう」と一つ一つじっくりと眺めていました。

11月1日～14日には、かんぼの郷庄原で第27回しょうばら菊花展が開催され、個人28人と市内の3小学校から、色鮮やかな美しい菊約400鉢が出品されました。

観賞した人は「菊花展の時期に合わせて、美しくそろった花を咲かせる技術が素晴らしい」と作品の出来を称えていました。



▲力作が並ぶ

Report 5

紅葉を愛でながら秋の味覚に舌鼓 帝釈もみじまつり



▲こども神楽



▲味覚を堪能

帝釈自治振興区が主催する帝釈もみじまつりが11月2日、帝釈自治振興センターで開催され、家族連れや観光客など約1500人の来場者でにぎわいました。

今年で7回目と定着し、都市部から訪れる人も年々増えています。

手打ち蕎麦や香茸ごはんなど、帝釈産の食材をふんだんに使用したバザーは大好評で、訪れた人は秋の味覚に舌鼓を打ちながら、紅葉狩りを楽しんでいました。

市内のイベントやまちの話題をお届けします。
身近でホットな情報をお寄せください。
情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159 / Fax0824-72-3322

Report 1

特産りんごを笑顔でPR 高野小5年生が道の駅たかのでりんごを販売



道の駅たかので11月21日、高野小学校の5年生14人が高野りんごの販売を行いました。

5年生は販売に向けて、高野町果樹園芸組合青年部の協力を得て育てた2本のりんごの木から500個のりんごを収穫。平日の昼過ぎにも関わらず予定時間内で見事に完売しました。また、りんごにまつわる俳句が書かれた児童お手製のしおりが当たるくじ引きも行われ、販売所は終始にぎわいを見せました。

販売を行った草谷夏輝くんは「摘花作業が大変だったけど、心を込めて作ったりんごが完売してうれしい。高野のりんごはおいしいという評判をもっと広げたい」と話し、りんごの収穫や販売を通じ、地域の魅力や素晴らしさをあらためて実感している様子でした。

◀にぎわう販売所

Report 2

備北の丘に子どもたちの笑顔が広がる 第14回こどもまつり

第14回こどもまつりが10月26日、「集まれ庄原元気づき！あそびいっぱい笑顔が広がる備北の丘」をテーマに国営備北丘陵公園で開催され、子育て家庭をはじめ約2,000人の来場者でにぎわいました。

さわやかな秋空の下、国兼池を望む湖畔広場を会場に、板橋小学校児童による板橋一心太鼓が力強い演奏を披露して幕を開けました。

会場には、保育所保護者による手づくり段ボール迷路や子育てサークルによるかえっこバザールなどのあそびコーナー、乗馬や消防はしご車試乗などの体験コーナー、子ども服のリサイクル広場や各種バザーコーナーが設けられ、元気いっぱいに遊ぶ子どもたちの笑顔の輪が広がりました。

また、子育てを応援する市内の団体が実行委員会を組織し、約250人がボランティアの運営スタッフとして参加しました。子どもたちの笑顔のために、スタッフが地域ぐるみで世代を超えて力を合わせることで、「地域みんなで一緒に子育てしましょう!」というメッセージを来場者に向けて発信しました。



▲手作り段ボール迷路に大はしゃぎ



▲乗馬などの体験コーナーも大人気



Report 9 西城のうまいもんが勢ぞろい 第3回西城超元気農産物フェスタ

西城自治振興区が主催する「第3回西城超元気農産物フェスタ」が11月9日、庄原西城体育館で行われ、「西城の野菜、大集合！～食を通じてつながろう～」をテーマに町内からたくさんの農産物が集まりました。

農産物品評会では256品が集まり、5部門に分けて品評が行われました。その後、地元住民と西城紫水高生による「神楽」の演舞、西城川子ども太鼓の演奏と



▲せり太夫の威勢のいい掛け声を皮切りに、農産物が競り落とされていく

続きました。午後からは、品評会にかけられた農産物の“競り売り”が行われ、競り太夫の威勢の良い掛け声を皮切りにどんどん競り落とされていきました。

安井政行実行委員長は「西城産野菜の力と可能性を感じた。実行委員も心をひとつに頑張った」と話していました。

当日は西城写友会との共催で「西城フォトコンテスト」も同時開催され、西城町の魅力を伝える写真がズラリと並び、それらを前に来場者が談笑する姿が見られました。会場の外でも、“西城のうまいもん”を使った食品や加工品のお店が並び、来場者は見て、食べて、おいしい一日を過ごしました。



Report 10 小学4年生が10年後の自分にメッセージ 庄原青年会議所が「未来のわたしへ贈り物」事業を実施

市内の小学4年生（19校267人）にタイムカプセルを埋めてもらう「未来のわたしへ贈り物」事業が10月25日、庄原市民会館で開催されました。

（一社）庄原青年会議所が主催するこの事業は、庄原市市制施行10周年にあわせ、今年10歳になる小学4年生（市内19校267人）を対象に、10年後の自分にメッセージを送ってもらおうという企画で、当日は4年生と保護者、各校の教諭など約180人が参加しました。

子どもたちは、クラスごとにカプセルを作成。自分に宛てた手紙を圧縮袋に入れ空気を抜き、ガラス瓶の中へ乾燥剤と一緒に封入しました。完成した25個のカプセルを土



▲会議所のメンバーがカプセルを受け取り土中へ

の中に入れ、みんなで交代しながら土を埋め戻しました。

タイムカプセルは子どもたちが20歳になる平成36年度の成人式の日に開封されます。

庄原青年会議所・心つながる青少年育成委員会の石川秀基委員長は「この事業が子どもたちの思い出となり、庄原に帰ってくるきっかけになればうれしい」と話していました。



▲みんなで土を埋め戻して芝を張り完了

Report 6 東城市街地がタイムスリップ 第22回お通り



▲下に～下に



▲華やかな母衣

時代絵巻を再現する催事「お通り」が11月2日、東城小学校をメイン会場に開催されました。

江戸時代から続く伝統行事を一目見ようと、市内外からたくさんの方が会場、沿道を埋めました。サザンカの花をあしらった矢よけの武具「母衣（ほろ）」や華童子（はなわらべ）、大名、武者など総勢150人からなる行列が、「下に一、下に」の声にあわせ、東城市街地を練り歩きました。

観客は勇壮かつ華やかな姿に歓喜の声をあげながら、ひたすらカメラに収めていました。

Report 7 元気いっぱい防火を呼びかける 比和幼年消防きららクラブが防火パレード

10月23日、比和幼年消防きららクラブによる防火パレードが実施され、参加した比和保育所園児22人が、防火を呼びかけました。

保育所から比和支所までの長い道のりを、拍子木をカチカチと鳴らしながら、「火の用心！」と呼びかけ、元気な子どもたちの声が比和の町に響き渡りました。途中3カ所で、一生懸命練習してきた歌や踊りを披露。周囲の方々も家から沿道に駆け寄り、かわいらしい消防士たちを応援していました。

▶元気いっぱい「火の用心！」



Report 8 元気はつらつ爽やかプレー 第9回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会



▲ナイスイン！

爽快な秋晴れの下、第9回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会が10月25日、田総の里スポーツ公園で開催さ

れ、市内各地域の予選を勝ち抜いた30チーム150人が参加しました。参加者は24のグループに分かれ、芝がきれいに刈り込まれた24ホールをプレー。交流を楽しみながらも、真剣勝負を繰り広げていました。

当日の成績は次のとおりです。

●団体戦

順位	男性の部	女性の部
優勝	東城男性 D	庄原女性 B
準優勝	庄原男性 B	東城女性 A
第3位	西城男性 A	東城女性 C

●個人戦（敬称略）

順位	男性の部	女性の部
優勝	中川洋昭（総領男性）	伊藤ハルミ（東城女性 A）
準優勝	定宗静磨（庄原男性 D）	岩田美恵（庄原女性 C）
第3位	間瀬場数好（西城男性 A）	小林節子（庄原女性 B）
第4位	寺岡保則（東城男性 D）	久山公枝（庄原女性 D）
第5位	池尻賢次（西城男性 A）	竹岡孝子（口和女性）